

## 第 83 回研修会資料（参考）

### プレー参考事例

#### 1. 進行事例

場所：大みか GC プレー人員：4 名 ハンデキャップ：8～15（H S Gメンバー）

結果：1 回目が1時間15分 待ち時間：1回、2回目無し（前の組が2名）  
2 回目が1時間20分。  
3 回目は1時間40分。 ティーショット約3分程度（午後の混み合い）

#### 計測

- 1) ティーショット時間：ボールをセット～打つ迄：約10秒。全員早打。  
→規則のショット時間に当たります。（40秒以内）
- 2) ティーショット間隔：1人目ショット～2人目ショット間隔：約30秒。  
打つ（起点：スタート時間）→ボールの行方を追ひ、落ちどころを確認  
→ティを拾ひ、次の人に替わる→次の人が目標を定め、ボールをセット  
→素振りして、打つ（終点）

計算値 0.5分×32（6ホールの4人の平均スコア）×4人＝64分

#### 3) 移動時間：

6ホール：約5000歩×0.6m（歩幅、坂を含むため）＝約3Km

計算値 3km÷4km/時間＝0.75時間＝45分

#### 4) 理論上の時間 と実際の時間差

理論時間：64分+45分＝109分＝1時間49分

（ショット時間10秒でこの程度）

実際時間：1時間20分 差：30分

1ショット当たりの差： 30分×60秒÷90打 ＝4秒/打

考察 1ショット当たりの準備時間を 他のプレーヤーが準備している間、  
同時に行う事で理論より早く出来る。数秒の差を積み重ねて早くする。

#### 2. 遅れた場合の処置（例） <<今回の議論>>

- 1) 打つ前の下準備を、同伴プレーヤーが打っている間に済ませる。
    - a) 距離計測：球の位置からでなく、待機場所で測定し歩測で距離を計算。
    - b) バンカーで球を出した時のマーク：均す時間に他の人は打つ。  
ボールが邪魔なら、マークとピックアップを同伴競技者に依頼する事ができる。  
（但し、ピックアップした人が リプレースしなければならない）
- JGA 規則 14.2b 球をリプレースしなければならない人とその方法**
- (1)球をリプレースしなければならない人：プレーヤーの球は次の人によってのみ規則に基づいてリプレースしなければならない：
    - そのプレーヤー。
    - その球を拾い上げた人、またはその球を動かす原因となった人。  
認められていない人がリプレースした球をプレーした場合、プレーヤーは1罰打を受ける。
  - 2) 昼食休憩の短縮
    - a) 前の組に挨拶して、食事担当に早めの準備を依頼。
    - b) 前の組が出たら、5分以内に出来る限り出る。
  - 3) 暫定球
    - a) 冬、落ち葉の季節。 有るだろう。→ 見つからないかも。と考える暫定球。
  - 4) ボール探し
    - a) 遠い人は打ってから、探しを手伝う。（前の組が居ない場合）

その他、議論下さい。